

令和5年度（第44期） 矢沢明老大学の受講生募集！



本大学は、矢沢地区にお住いの概ね60歳以上の方を対象とし、生涯学習の一環として開設しており、今年度44回を迎える伝統ある講座となっています。この講座は、矢沢地域振興会の生涯学習事業部会が主催者として関わって8年目になります。今年度も身近な話題や教養講座を始め、楽しいレクリエーション、移動研修など盛りだくさんの内容で進めてまいります。老人クラブ会員の方はもちろん一般の方も含め多くの方に入講していただき明老大学を更に盛り上げてもらいたいと願っております。

【申込方法】

(1) 老人クラブの会員の方

各地区の単位老人クラブの会長が受講生を取りまとめ、振興センターへ申し込みます。申込期限は5月18日（木）となっています。

(2) 老人クラブに加入していない方

直接、矢沢振興センターへお申し込み下さい。（☎：23-2171）



第1回 明老大学（開講式）のご案内

- 期 日：5月30日（火）
- 会 場：矢沢振興センター・大広間
- 開講式：午前9時30分～
- 講 演：午前10時～
- 講 師：海野 義範 氏
うんの ぎはん
北上市更木町 永昌寺 住職
- 演 題：未定
- その他：明老大学生以外の聴講大歓迎！

令和5年度

○ 定期健康診査のご案内（矢沢地区）

会場：矢沢振興センター
日程：5月15日（月）～5月19日（金）
5月24日（水）～5月26日（金）
時間：09時30分～11時00分
13時00分～14時30分
担当：花巻市健康づくり課健診管理係
（花巻保健センター内 ☎41-3614）

○ 矢沢地域環境対策協議会と岩手県化 製油脂協同組合と懇談（4月19日）

今後、両者で組合の説明と施設見学を具体的に詰めることで合意しました。



● 矢沢地域振興会令和5年度定期総会開催

矢沢地域振興会は令和5年度定期総会を矢沢振興センター講堂において4月15日に開催しました。会長挨拶に続いてご来賓の上田東一市長、川村伸浩県議会議員のご祝辞を賜りました。

議事は議長に高松第三行政区の代議員・柳田清氏を選出し、提案された3つの議案は満場一致で可決されました。（総会記事は「季刊やまぼうし第44号」にも掲載）



祝辞を述べられる上田花巻市長

● 各種団体合同説明会開催

矢沢地域振興会の定期総会終了後の4月15日15時から、昨年引き続き合同総会を合同説明会として開催しました。この説明会には各地域の行政連絡員さんの出席を頂き、限られた時間でしたが、各団体におけるこの1年間の経過説明と今年度の方針について説明がなされました。行政連絡員の皆さん一年間よろしくお願ひいたします。

「やさわこども広場」4年ぶりに再会！

矢沢地域振興会の目玉事業の一つである子育て支援事業部会（伊藤裕子部会長）が主催する「やさわこども広場」は4月12日に開かれ、赤ちゃんの可愛い泣き声が振興センターに戻ってきました。9名のボランティアスタッフが心を込めてお母さん方の育児の手助けをと奮闘しています。基本的に毎月第二・第四水曜日に矢沢振興センターの大広間で10時から開いています。気楽に覗いてみてください。お待ちしております！



子育て支援スタッフの皆さん方とニコリ！



お母さんと赤ちゃんの交流！



伊藤部会長から誕生記念品の贈呈、健やかな成長を！

矢沢小・中 義務教育学校移行 花巻市に要望書提出

4月13日、矢沢小・中 PTA 会長、矢沢地域振興会会長は花巻市長と教育長に「矢沢小・中学校9年間の義務教育学校移行、校舎新築、学童クラブの整備」への要望書を手渡しました。矢沢地域からは、地元の議員さん、小・中学校の校長先生を含め関係者9名が出席、市側と懇談が行われました。市側として、義務教育学校移行への諸課題を整理、地域との連携を密にし、制度設計構築を慎重に検討しながら進めていきたいと述べられました。



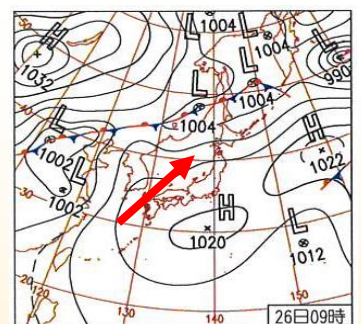
左から佐藤教育長・上田市長・中島振興会長・高橋矢小 PTA 会長・石川矢中 PTA 会長

移動図書館（ぎんが号）運行日程

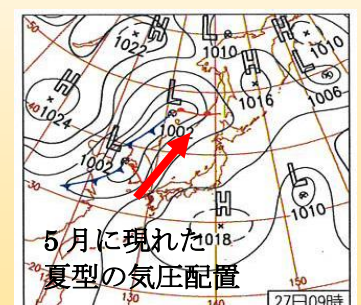
5/11 (木)	団地会館	13:40~14:00
5/11 (木)	福祉センター	14:15~14:45
5/17 (水)	高木観音	09:20~09:50
5/17 (水)	振興センター	10:05~10:35
5/17 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

【事務局員のつぶやき】（5月は五月晴れのすがすがしい天気が続きます？）

5月は移動性高気圧に覆われることが多く、場合によっては带状高気圧が日本付近を広く覆い晴天が何日も続くこともあります。五月（さつき）は旧暦の5月のことで、新暦では6月に当たり、本来は梅雨の晴れ間のことを指して「五月晴れ」と呼んでいましたが、現在では5月の爽やかな晴れを指して呼ばれています。今年の立夏（立夏から小満）は5月6日から5月20日の期間で、暦の上では夏となりますが、本格的な夏はまだ先となります。しかし日射が強まり（ちなみに、昨年の盛岡における紫外線量は7月に続いて5月が2番目に多くなっており、天気も左右）、最高気温が25度以上の夏日になることもあります。暑くも寒くもなく、湿度が低く過ごしやすいう日も多く、新緑のまぶしい季節となります。ところが時には、5月はメイストーム（春の嵐）と共に、春の異常高温となる年もあります。コロナ感染症出現前年の2019年（令和元年）には、盛岡の最高気温、5月26日31.9度（7月第4位）、翌5月27日33.6度（7月第1位）と二日連続で真夏日を記録しています。この時の天気図を見ると（右図参照）典型的な南高北低の気圧配置（大陸に低気圧、日本付近や日本の南海上に高気圧）となっており、正に夏型の気圧配置となっています。この結果、5月26日には、北海道の北東部に位置しサロマ湖で知られる常呂郡（とほろぐん）佐呂間町で最高気温39.5度と5月として歴代の全国1位を更新し、全国の観測点926地点のうち、36地点で通年の最高気温の高い方から1位を記録しました。なお、佐呂間町の西側には大雪山系が位置し、最高気温を記録した14時から15時は西風が約4m吹いており、山越え気流のフェーン現象も佐呂間町の気温上昇に大きな影響を与えたと思われます。



26日(日)北海道で記録的猛暑



27日(月)北海道は連日の猛暑

令和元年5月26&27日
09時の地上天気図